

平成 20 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川 島 敦
(コード番号 4321 東証1部)
問 い 合 っ せ 先 取締役CFO 吉 川 泰 司
電 話 番 号 (03) 3519-2530

平成 19 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 19 年 8 月 6 日に公表しました平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期の業績予想の修正（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	132,500	27,600	22,200	11,900
今 回 修 正 (B)	138,000	30,800	26,100	14,600
増 減 額 (B - A)	5,500	3,200	3,900	2,700
増 減 率 (%)	4.2	11.6	17.6	22.7

ご参考：前期の実績（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績 (A)	27,044	18,637	16,461	9,015
-----------------	--------	--------	--------	-------

(2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	23,700	19,700	18,000	11,200
今 回 修 正 (B)	26,600	23,100	21,600	13,300
増 減 額 (B - A)	2,900	3,400	3,600	2,100
増 減 率 (%)	12.2	17.3	20.0	18.8

ご参考：前期の実績（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績 (A)	17,694	14,701	13,769	8,303
-----------------	--------	--------	--------	-------

2. 修正の理由

(1) 連結

当期においても物件取得が順調に進んでおり、平成19年12月末のアセットマネジメント受託残高は未完成の開発案件を除き7,349億円に達し、管理報酬であるアセットマネジメントフィーも順調に計上されております。

アキュイジションフィーが予想を上回る見込みである他、自己勘定投資物件を当社グループが運用するファンドへ売却した際の売却利益や保有期間中の賃料収入も予想を上回る見込みとなりました。

さらに、海外事業におきましても、米国での賃貸アパート物件への投資において、下期に物件の売却が進み、順調に売却利益が計上されましたことから、営業外収益の持分法による投資利益が前期を大幅に上回る見込みとなっております。

上記の結果、通期の営業収益、経常利益及び当期純利益が予想を上回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正することといたしました。

(2) 個別

連結業績予想の修正理由にありますように、自己勘定投資物件からの賃料収入や売却利益は好調に推移しております。個別においては、当該収益から原価及び費用を差し引いた純額のうち、当社出資持分相当額が、匿名組合への投資利益として営業収益に計上されますが、この匿名組合に係る投資利益が予想を上回る見込みとなっております。

また、個別の業績においては、連結では内部取引として消去される、子会社である投資ヴィークルからのアセットマネジメントフィーなどの各種報酬が計上されますが、当期は、この子会社からのフィー収入の増加が予想を上回る見込みとなりました。

上記の結果、通期の営業収益、経常利益及び当期純利益が予想を上回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正することといたしました。

以 上